

朝鮮民主主義人民共和国
国務委員会委員長 金 正恩 様

抗 議 文

2017年9月3日、貴国が6回目の核実験を強行したとの報道に接しました。

世界各国の再三にわたる核開発に対する中止要請にもかかわらず、貴国が核実験を強行したことは、平和を希求する庄原市民の願いを踏みにじる暴挙であり、断じて容認できません。

本市は、これまであらゆる機会を通じて、核兵器の廃絶並びに恒久平和の実現を世界に訴えてきました。

こうした中、貴国の行動が他の核兵器保有国や核兵器保有願望国の核開発を加速させ、世界の平和と安定の構築を損ねることを強く危惧します。

ここに庄原市民を代表して、今回の貴国の実験の強行に対して強く抗議するとともに、貴国が核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う世界中の人々と庄原市民の思いを真摯に受け止め、核実験はもとより、今後一切の核開発を放棄することを強く求めます。さらに、核兵器不拡散条約（NPT）に復帰し、核抑止力に頼らない外交努力を行うなど、核軍縮に向けた誠実な交渉義務を果たすことを改めて強く要請します。

2017年 9月 4日

日本国 広島県 庄原市長 木山 耕三